



新政会
佐々木和代

福祉避難所について

質問 福祉避難所に関しては、避難生活が困難な高齢者、障がい者などの要配慮者が利用すると考えられるが、市内の対象者の把握はどのように行っているか伺う。

答弁 平成21年度から23年度までの3年間で、すべての町内会に説明に回り、支援が必要な方の個別の避難支援プランを作成していたことで、避難行動要支援者の把握をしているところです。

質問 個別の避難支援プランの更新はされているのか伺う。また、先日の市民説明会では個別支援プランが難しすぎて作成できないとの意見があったが、今回の見直しに併せて内容を見直す必要があると思うが、考えを伺う。

答弁 個人の支援プランの見直しについては現在行っていないが、必要であると認識しています。また、個人の避難支援プランの基本的内容については、病歴や災

害時の支援者の有無などですが、市民の意見を踏まえて見直したいと考えています。

作成にあたっては、町内会や民生委員をはじめ関係機関の協力を得ながら見直していきたいと思っています。

8050問題について

質問 8050問題とは80歳代の親が50歳代の引きこもりの子どもの生活を支えるという問題です。昨年の内閣府が行った調査によると、40歳から60歳までの中高年の引きこもりの方は、全国で推計61万人という結果が出ています。

本市における中高年の引きこもりの実態把握はできているか、また、引きこもり相談窓口はどこで行っているか伺う。

答弁 引きこもりに特化した専門の相談窓口は設けていませんが、従前から福祉施策に関わる関係部署・機関がそれぞれの日頃の活動の中で把握した情報をもとに、必要な部門との情報共有を図り、支援などの対応をしています。また、現在中高年に限らず20世帯程度と把握しています。

市議会あれこれ

会議録について

公開しているすべての会議は「会議録」として記録しているため、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として議会事務局や図書館に備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

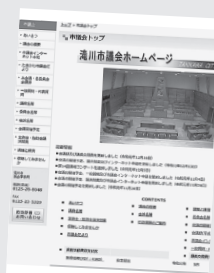
なお、会議録の作成には数か月かかりますのでご了承ください。

ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議録だけでなく、会議の開催日程や議決結果などについても掲載しています。

また、本会議の様子を録画配信しています。

本会議場での質疑をご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。



意見書の提出について

第4回定例会では、市議会から2件の意見書を関係行政庁に提出しましたが、意見書について解説します。

意見書の提出については、地方自治法第99条にて規定されており、議会は地方公共団体の公益に関することについて、国会または関係行政庁に意見書として提出することができます。

滝川市の政策や制度については、条例の制定や予算を審議したり、また執行機関に関する監査的権限を行うことにより議会の意見を十分反映することが可能ですが、滝川市以外の国、北海道の制度などの事務に対しては、これらの権限がないため、市議会としての意思表示として意見書の提出が認められています。

滝川市議会では、会派等から提出のあった意見書案を3月、6月、9月、12月の定例会において審議し、可決されたものを国会または関係行政庁に提出しています。